〈センチメンタルな旅〉1971年　東京都写真美術館蔵

総合開館20周年記念　20 Year Anniversary

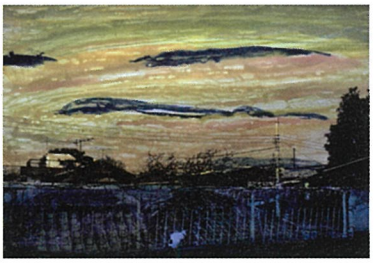
荒木経惟　ARAKI Nobuyoshi　Sentimental Journey 1971– 2017–
センチメンタルな旅 1971– 2017–

2017年7月25日|火|–9月24日|日|

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館、産経新聞社
協賛：株式会社資生堂、東京都写真美術館支援会員　協力：株式会社写真弘社

会場：東京都写真美術館２階展示室
開館時間：10:00–18:00［木・金は20:00まで］※ただし、7月20日(木)–8月25日(金)の木・金は21:00まで開館 ※入館は閉館30分前まで
休館日：毎週月曜日［ただし9月18日(月・祝)は開館し、19日(火)は休館］
観覧料：一般 900(720)円／学生 800(640)円／中高生・65歳以上 700(560)円
※( )は20名以上の団体料金 ※小学生以下、都内在住・在学の中学生および障害をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料
※8月25日(金)までの毎金曜日18:00–21:00はサマーナイトミュージアム割引(学生、中高生無料／一般・65歳以上は団体料金 ＊各種割引の併用はできません)

TOP MUSEUM



荒木経惟
センチメンタルな旅 1971– 2017–

ARAKI Nobuyoshi　Sentimental Journey 1971– 2017–

1 2 3
4 5 6
7 8 9

1〈東京は、秋〉1972-1973年
2〈愛のバルコニー〉1985年
3〈東京ノスタルジー〉1985年
4〈食事〉1985年
5〈冬の旅〉1991年
6〈空景〉1989-1990年
7〈近景〉1990年
8〈遺作 空2〉2009年
9〈三千空〉2012年
上記作品はすべて作家蔵

このたび、東京都写真美術館は、総合開館20周年を記念して「荒木経惟　センチメンタルな旅 1971– 2017–」展を開催します。
荒木経惟は、1960年代から活動を始め、国の内外で高い評価を得ています。荒木の作品は、テーマや手法が多岐にわたることでも知られ、これまでに500冊近い写真集を上梓するなど、その制作意欲は現在もなお、尽きることがありません。
本展は、その膨大な作品群から、妻、「陽子」というテーマに集点をあてた展覧会です。荒木自らが「陽子によって写真家になった」と語るように、1960年代の出会いから1990年代のその死に至るまで、陽子はもっとも重要な被写体であり、死後もなお荒木の写真に多大なる影響を与え続けてきました。本展では、陽子を被写体とする写真や、その存在を色濃く感じさせる多様な作品を通して、荒木が重要視している被写体との関係性を探り、また彼の写真の神髄である「私写真」について考察していきます。展覧会タイトルの「センチメンタルな旅 1971– 2017–」とは、1971年に出版された私家版の写真集に始まり、現在へと続いている荒木経惟の私写真、そしてその写真人生そのものを表しています。

| 荒木経惟展相互割引 |

東京オペラシティ アートギャラリー「荒木経惟　写狂老人A」展（7/8–9/3）の入場券をご提示いただくと、本展入場券が団体料金になります。また東京オペラシティ アートギャラリー「荒木経惟　写狂老人A」展へご入場の際に本展入場券をご提示いただいた場合も団体料金になります。（他の割引との併用不可、ご本人様1回限り有効）
東京オペラシティ アートギャラリー　www.operacity.jp/ag/　03-5777-8600（ハローダイヤル）

| 展覧会図録 |　B5判・288ページ　定価：2900円（税別）　発行・発売：HeHe（ヒヒ）www.hehepress.com

| 関連イベント |

◎関連トーク
「22世紀アラーキー論 ―ずっと、センチメンタル―」
伊藤俊治（美術史家・東京藝術大学教授）、斎藤環（精神科医）、北澤ひろみ（本展ゲスト・キュレーター）
司会 藤村里美（東京都写真美術館学芸員）
日時：8月6日（日）14:00–16:00

◎朗読会＋トーク
荒木経惟の作品についての詩を作者自らが朗読します。
吉増剛造（詩人）、朝吹真理子（作家）
日時：9月16日（土）14:00–16:00

各回とも
会場：東京都写真美術館 1階ホール
定員：190名（整理番号順入場／自由席）
入場料：無料／要入場整理券
＊当日10時より1階ホール受付にて入場整理券を配布します。

◎ゲスト・キュレーター／担当学芸員による
ギャラリートーク
会期中の第2、第4金曜日14:00より、ゲスト・キュレーター／担当学芸員による展示解説を行います。
展覧会チケット（当日印）をご持参のうえ、2階展示室入口にお集まりください。

＊事業はやむを得ない事情で変更することがございます。

東京都写真美術館
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

至 渋谷　東口　動く通路　JR恵比寿駅　日比谷線恵比寿駅 1番出口　恵比寿ガーデンプレイス　TOP MUSEUM

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
Tel: 03-3280-0099　www.topmuseum.jp
JR恵比寿駅東口より徒歩約7分。東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。
当館には駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。